ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成19年 No.198 12月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

自民党京都府連、市長候補に門川氏を決定
党本部に推薦を上申

桝本氏に続き、再び市役所出身

桝本市長の勇退表明を受けて、京都市会の与党3会派では、精力的に次期市長候補について意見を交わしてきた。与党3会派で統一候補を立て、共産党候補と戦う2極対決の枠組みでは意見の一致を見たが、誰を候補者として擁立するかとなるとなかなか結論が出なかった。そんな中、民主党が、門川大作氏(京都市教育長)に出馬を要請し、市長選挙の主導権を握ろうとした。自民党の方は、国会議員が模索していた候補者の承諾が得られなかったために、11月28日に議員団会議で門川氏を推薦することを決定した。公明党も自民、民主両党の推す候補者に賛同、3会派で門川氏を推薦することになった。ポスト桝本をめぐっては当初から、三会派の中で門川氏の呼び声が高かったが、その一方、市役所内、しかも教育長から2度続けて市長候補はどうかと言う批判的な意見があったのも事実である。しかし、自民、民主両党とも市役所外からの候補者を発掘することが出来ず、下馬評通り門川氏推薦に落ち着いた。自民党京都府連では、12月9日、府連常任選挙対策委員会を開き、自民党京都市会議員団から推薦のあった門川大作氏を党本部に推薦を上申することを決定した。

門川氏の推薦を決定した府連常任選対

恒心

★守屋武昌前防衛事務次官が妻と一緒に逮捕された。夫は収賄の容疑、妻は普段聞きなれない「身分なき共犯」という罪が適用された。夫の不祥事で妻が逮捕された例が過去にあるのかないのか知らないが、何れにしても前代未聞の事件であることに違いがない。それも国家の安全をつかさどる最高幹部の不祥事だけに極めて深刻な事件である。★公平、公正、高い倫理観を求められるエリート公務員である。しかも、自衛官の模範となるような規範意識を持って常に行動しなければならない。自衛官は自分たちのトップが高い見識と愛国心、勇気を持った立派な人間であると信じている。それだからこそ、危険を顧みず命を賭して防衛の最前線に立っているのである。自衛官の士気に影響するのではないかと心配である★今、国会は新テロ特措法をめぐって与野党が緊迫した状態にある。この事件がどこまで拡大するのか。新聞やテレビの報道しか知らないが、もし政界にまで及ぶとしたら、事態は極めて深刻であり、非常にタイミングの悪い守屋氏の事件である。★それにしても守屋夫人の振る舞いには驚くばかりである。夫の不在中でも宮崎元専務と一緒にゴルフをしたり、食事をしたり、欲しい物をねだったりとこんなことを平気で出来る神経がわからない。最初は些細な食事ぐらいだったかもしれない。その内にずるずると深みにはまったのではないか。亭主の顔に泥を塗ったと怒ってみても、今回の事件は夫婦合作の様でもあり、守屋氏はまさか妻が勝手にしたことだとは口が裂けても言えないであろう。

参議院一期生と福田総理との懇談会

福田首相が、自民党参議院一期生である、二十日会（平成16年当選）、一七会（平成19年当選）の議員との合同懇談会を持った。

先ず、首相は「こんな機会を前から持ちたいと思っていたが、遅くなって申し訳ない。世界平和のために、ぜひとも新テロ特措法の成立を期さねばならない。皆さんの協力をお願いしたい」と挨拶した。続いて二十日会を代表して、二ノ湯議員が、「大変忙しいこの時期に、私達との懇談の場を持っていただき有難うございます。二十日会のメンバーは二年前、郵政民営化法案を巡って悩ましい判断をし、今は参議院での少数与党という厳しい立場に置かれています。しかし、日本の平和と繁栄を実現出来るのは、自民党しかないという誇りと責任を持って政治活動を続けていく覚悟です。」と挨拶した。一七会の長谷川大紋会長（茨城県選出）も挨拶、その後懇談に入った。

議員からは小泉内閣の行き過ぎた改革を是正して、地方や農業を重視した政策に切り替えていくべきだ、環境問題にしっかり取り組んで欲しい、健康管理をどうしているのか、もう少し派手なネクタイを締めたらどうかなどの発言が飛び出し、短時間ではあったが和やかな懇談会となった。

全国知事会議、圧倒的な存在感、石原都知事

官邸大食堂での全国知事会議

11月14日、首相官邸で全国知事会議が開かれた。二ノ湯政務官も出席、各知事の発言に耳を傾けた。厳しい地方財政状況を反映して、多くの知事から交付税の増額、格差是正のために地方法人税の見直し、道路特定財源の維持などを首相に訴えた。その中で、「東京を目の敵にするが、東京には毎日約350万近い人々がやってくる。この方たちにサービスをしなければならないし、今後10年ぐらいに600ほどの橋の補修が必要で、金はいくらあっても足りない」との石原知事の発言はそれなりの説得力を持っていた。

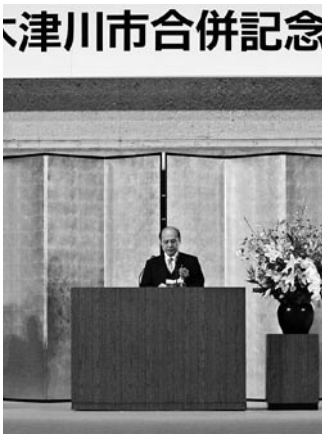
陳情、会合出席に忙しい政務官

庶民のジャンボな夢 東京で宝くじ事業発展の国際会議

宝くじは僅かな投資で、大金を獲得する可能性がある庶民の夢であり、ささやかな賭博である。宝くじの発売元は全国都道府県及び17指定都市であり、一般の個人や会社などが発売することは、刑法187条で禁止されている。宝くじの売上額の40％が収益金として発売元の自治体へ納められる。宝くじの中でも全国自治宝くじ（ジャンボ）は有名で一等賞金も大型化している。ドリームジャンボ宝くじ、サマージャンボ宝くじ、年末ジャンボ宝くじとして年3回発売され、今年度、発売計画額を４５９０億円見込んでいる。宝くじは世界各国でも普及し、約70ヵ国が加盟する世界富くじ協会があり、5つの地域組織がある。そのうちの一つである「アジア太平洋富くじ協会」に加盟している11ヶ国の代表ら約150名が参加して東京で国際会議が開かれた。協会では、アジア太平洋地域各国の富くじ事業発展のため、毎年定期的に総会、講演会を開催している。11月26日、都内のホテルで歓迎パーティが開かれ、二ノ湯政務官は、来賓として、祝辞を述べた。

木津川市合併記念式典 二ノ湯政務官、関係者に深い感謝

京都府南部の木津町、加茂町、山城町の3町が合併して、新生木津川市が3月12日にスタートした。4月22日には市長選挙が行われ初代市長に河井規子氏が当選した。京都府下では初の女性市長の誕生である。河井市政は多くの課題を抱えつつも概ね順調な滑り出しである。市制発足後、6カ月経過した11月17日、木津川市合併記念式典が行われた。二ノ湯総務大臣政務官は来賓として出席した。式典で二ノ湯政務官は合併に多大の功労のあった旧三町の町長、議長に対して、総務大臣の表彰状を授与した。祝辞の中で、二ノ湯政務官は3団体の合併に貢献された方々に敬意を表した後、数多くの重要文化財を有する木津川市が、水・緑・歴史が薫る文化創造都市の実現を目指して努力されるように要望した。



二ノ湯政務官、大臣表彰状を渡す

総務大臣の表彰状を授与する二ノ湯政務官

5年に1度の国勢調査、10年に1度の大規模な国勢調査は多くの国民が知っているが、政府・地方自治体は、社会や経済の動向を的確に把握するために各種の統計調査を常時実施している。各種のデータは、その国の現在の状態を正しく表している数字であり、人間で言えば健康診断のようなものである。政府・自治体はその数字を参考に政策を立案している。従って統計を正しく把握することは、非常に重要なことである。各種の統計調査は、殆んどが市民のボランティアによって行われているが、最近は地域社会が崩れつつあり、また、個人情報保護の関係もあって、調査活動が難しくなってきており、統計調査員の苦労も多い。政府・自治体では統計調査員の苦労に報いるために毎年一度、表彰式を行っている。去る11月27日、京都市南区東九条のアバンティホールで京都府、京都市、京都府統計協会三者の共催で平成19年度統計功労者表彰式が行われた。この表彰式に二ノ湯総務大臣政務官は総務大臣の代理として出席、大臣の祝辞を代読し、功労者に総務大臣の表彰状を授与した。

第五十二回簡易水道整備促進全国大会

現在の日本人にとって水道を利用するのは当たり前と思われているが、今も370万に及ぶ人々が水道を利用出来ない状態である。横浜市の人口に匹敵する人々が衛生的な水が飲めないとは驚きである。水道が利用できない地域は、地理的条件が悪く、建設費が非常に高くつき、個人負担もあり、未普及地域の解消には時間と多額の費用がいる。しかし、良質な水は快適な日常生活を送るためばかりでなく、農業にも工場にも絶対に必要である。地方の生活基盤となる簡易水道の整備近代化を促進するための財政支援を平成20年度の政府予算において反映させるために、11月29日に東京の砂防会館で、都道府県の関係者が集まって、簡易水道整備促進全国大会が開かれた。二ノ湯総務大臣政務官は増田総務大臣の代理として出席、大臣祝辞を代読した。

旧軍港都市、特殊な事情に理解を

要望に訪れた4市市議会議長と(政務官室で)

横須賀(神奈川県)、呉(広島県)、佐世保(長崎県)、舞鶴(京都府)の四市は戦前、軍港が所在していた都市である。今なお、市内に広大な米軍基地や自衛隊の施設及び国有地が存在している。そのため地域の振興に多大な影響を与えている。市当局はこれらの施設、土地には固定資産税、都市計画税の市税を課税することが出来ない。免税のための不利益、税収不足の軽減策を国の方で責任を持って行い、格別の財政支援をして欲しいと4市の議長から要望があった。

全国水源の里連絡協議会設立総会

夏の参議院選挙での自民党の敗北を受けて、地域間格差がにわかに注目を浴び、中でも地方の厳しい過疎地域の問題が大きな政治問題となってきた。過疎地域の中でも、人口の高齢化率が50%以上の集落を限界集落という。全国に7873集落があり、その内消滅の恐れのある集落は2641と言われている。限界集落、この言葉は、学術用語か、行政用語か知らないが、夢も希望もない響きの悪い言葉である。綾部市では限界集落を水源の里と呼び変えている。10月18日、限界集落に関係する人々約850人が綾部市に集まり、水源の里シンポジュウムが開催された。マスコミでも大きく取り上げられ、NHK衛生第2も12月9日に録画放送した。この成功を受けて、11月30日、東京の都道府県会館で全国の水源の里の住民、自治体関係者が集い、全国水源の里連絡協議会設立総会が開かれ、自民党政務調査会長の谷垣禎一氏、公明党の斉藤鉄夫政調会長、二ノ湯総務大臣政務官らが来賓として招かれた。総会では、初代会長に就任した四方八洲男綾部市長の開会挨拶に続き、限界集落を持つ自治体代表、住民から現状報告があり、その後、谷垣、斉藤両氏からは国としてもこの問題に真剣に対処しなければならないとの話があった。二ノ湯政務官は「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念を大切にして、水源の里問題に取組んでいきたいと挨拶した。

養老伊根バイパス開通式
二ノ湯議員、テープカット

京都府が進めていた国道178号線養老伊根バイパスの第２工区の開通式が12月２日に伊根町「ほっと館」で開催された。このバイパスの開通により、舟屋の横を通る狭い生活道路の安心安全が確保され、地域間交流が一層促進されることが期待されている。式典で二ノ湯議員は祝辞を延べ、その後、通り初めをして開通を祝った。

山田知事、家元府議会議長とテープカットする二ノ湯議員(左から３人目)

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

歩くことは健康の基本

第176回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**12月23日(日)**（小雨決行）
・集合時刻：午前９時(時間厳守)
・集合場所：四条大宮（嵐電四条大宮駅前）
・コ ー ス：壬生寺→八木邸→JR丹波口駅→島原西門→輪違屋→角屋→梅小路公園→六孫王神社→東寺→京都駅八条口解散

◦ 今年最後の歩こう会です。師走の街中を歩きます。是非ご参加ください。

（当日）☎090-1956-7460

第175回 みんなで歩こう湯歩会(参加者69名)

フルーツライン農園にて

身辺雑記

一、稲尾投手と言えばかっての野球少年にとって憧れの的。あの頃、私は西鉄ライオンズの大ファン。稲尾、中西、豊田など素晴らしい選手を西京極球場で観戦した。思い出に残る人の死は寂しい。

一、吉兆は最高級の料亭で、一生で一度は行ってみたいと思う店。その系統の船場吉兆で偽装表示と産地偽装が明らかとなった。吉兆生みの親・湯木貞一氏は料理人として初めて文化功労者に輝いた人。後継者が金儲けに急いで伝統に泥を塗った。故人はきっと嘆き悲しんでいることだろう。

一、昭和53年、共産府政から保守中道府政へ転換をはかった林田知事はいまだに私達の脳裏に焼きついている。京都府政の中興の祖である元京都府知事林田悠紀夫氏が九二歳の誕生日直前にして亡くなられた。教養人であり、立派な人格者であった。

一、その時、知事選挙で勝利に貢献したのが野中広務氏。当時、野中氏の右腕として活躍したのが西田吉宏前参議院議員。西田氏も11月19日に黄泉の世界に旅立たれた。若い時から苦労を重ね、国政まで進まれた刻苦勉励の人であった。

一、香川県坂出市で祖母と幼い姉妹が殺され、寒風が吹きすさぶ場所に遺棄された事件は大変痛ましい。殺人現場を子供に見られたとしても、どうして可愛い盛りの子供を殺す必要があるのか。発覚するのは時間の問題である。こんな事件を聞くたびに胸が痛くなる。

一、今年も師走を迎えた。この一年何を得たのか、ただ徒(いたずら)に時が過ぎ行くだけである。もっと勉強をと思っていてもなかなか上手くいかない。時が経つに連れて知らないことばかり増えて時には自信を失うことがある。学成り難しを痛感する。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

新春招福バスツアー
第21回 伊勢神宮初詣

◇旅 行 日　**平成20年1月14日(月･祝)**
◇昼食場所　**賢島『宝生苑』**
◇会　　費　**8,500円**
◇参加希望の方は至急お申込み下さい

◇申込先　後援会役員または
二ノ湯さとし京都事務所まで　TEL(075)315-2228 FAX(075)315-2310

参議院議員 **二ノ湯さとし後援会**